

農村環境創造基金事業 の実施状況について

平成28年2月25日

1. H27年度の農村環境創造基金事業の実施状況

- 「豊かな自然環境保全」や「都市農山村交流」等の活動の活性化を図るため、基金を造成（造成年度H5～H12）
基金造成額：1,320,000千円（負担区分：国1/3、県2/3）
- 運用益を含めて前年度末の基金残高の3%以内で事業を実施

基金造成年度	平成26年度末の基金残高	H27年度基金事業	
H5～H12年度	1,154,585千円	(1) 豊かな自然環境保全対策	11,806千円
		(2) 都市農山漁村交流対策	9,911千円
		(3) 県民の意識づくり推進	12,289千円
		計	34,006千円

(1) 豊かな自然環境保全対策

① 棚田保全活動支援

棚田オーナー、体験農園などの棚田保全活動を支援(2地区)

① 小矢部市荒間地区



耕作放棄地の整備

② 南砺市大勘場千束



田植え作業



直売所「山の店」



山菜採り

(1) 豊かな自然環境保全対策

②美の里保全活動支援

自然環境や農村景観の保全・再生活動、体験学習会等を支援(8地区)

- ①魚津市小菅沼 ②黒部市鏡野 ③富山市八尾町上高善寺 ④高岡市下八ヶ佐加野
⑤射水市金山 ⑥氷見市指崎 ⑦砺波市般若 ⑧砺波市雄神



交流施設の充実(ピザ窯作り):①魚津市小菅沼



施設保全(ため池の水抜き):⑤射水市金山



体験学習(タケノコ掘り):⑥氷見市指崎



農村文化の継承(行燈づくり):⑧砺波市雄神 3

(1) 豊かな自然環境保全対策

③中山間地域保全パートナーシップ推進事業

県内で農業・農村ボランティア活動や地域協働活動に取り組む学生団体、サークルの大学間の交流を深め、ネットワークづくりのため「学生交流バスツアー」を実施

5月16日
利賀村特産のそば打ち体験



5月16日「中山間地域に若者がどう関われるか？」学生主体のワークショップの実施



「交流バスツアー」がきっかけとなり、県立大水土里保全研究会が中心となり、砺波市梅檀山地区の特産「ふく福柿」の魅力発信を目指す「ふく福柿プロジェクト」が県内3大学の4つの学生サークルで結成

高齢化に悩む生産者を支援するため、約1tの収穫作業に協力



10月18日 砺波市梅檀山地区特産「ふく福柿」の収穫

中山間地域における集落と企業・団体等の協働活動の推進のためのマッチング・活動支援（13件）

	地域・集落	連携団体等	活動概要
1	魚津市・村木小学校	小菅沼・ヤギの杜	小学校と連携した農作業体験
2	山田地域未来プロジェクト	NPO法人ワーカーズコープ	高齢者福祉事業や障害者の就労に関する意見交換
3	上市町種地区	(株)上市屋(メデルケ)	山菜等を活用視した新商品開発支援
4	富山市小羽	NPO法人こば	体験交流・婚活イベントの実施、支援事業の紹介等
5	小矢部市埴生	親子給食サポート隊	小学生を対象に食材生産地の作業体験を通じて、地産地消を学ぶ
6	氷見市全域	氷見元気やさいの会(氷見市の飲食店)	飲食店と生産者の連携、地域野菜PRの取組
7	小矢部市論田	種といのちをつなぐ会	休耕地を活用した体験農業の実施
8	氷見市灘浦	灘浦かんきつ研究会	特産品のみかん栽培支援
9	氷見市マコモタケ組合	氷見市内スーパー等	市内スーパーと連携し、特設ブースで特産品直売を実施
10	砺波市庄川町金屋	砺波地区農業青年協議会	復元した耕作放棄地の草刈りを実施
11	南砺市楮	南砺建設業協会上平支部	耕作放棄再生地の石垣修復と草刈りを実施
12	南砺市菅沼	中日本高速道路(株)	合掌造り家屋に必要な茅の生産支援
13	砺波市東別所	県立大農業サークル	耕作放棄地の再生、特産品の柿の生産支援

(1) 豊かな自然環境保全対策

④中山間地域チャレンジ支援事業

集落と地域内外の企業や団体等が連携して取り組む地域活性化活動を支援 (20地区)

冬瓜からジュース、茶

魚津市神島町の農家の主婦らが冬瓜の産地化に挑んでいる。地元の神島公民館で3日、栄養成分について第1回勉強会を開き、ジュースとお茶への製品化を年内に目指すことにした。

冬瓜は別名カモワリ。女性中心のグループ「ほほえみ会」の政二喜美子さん(68)「神島」の主婦が昨年から栽培、出荷し、今年もビニールハウスの骨組みを備に結実。約1

産地化目指す魚津のグループ
製品化へ栄養の勉強会

行で収穫が始まった。勉強会では魚津市健康センターの森岡めぐみ管理栄養士が、高血圧予防、美肌効果、利尿・解毒などに効くとされる成分を指摘、種や皮も「捨てる所がない」と聞いたメンバーは冬瓜のジュースやお茶を試飲し、製品化する目標を掲げた。

「ほほえみ会」は、農産物の直売、休耕田活用、高齢者への昼食提供などをを行い、6年前に発足

した。冬瓜の産地化は今、県中山間地域チャラされた。

冬瓜(中央)の加工を自衛す「ほほえみ会」の主婦
—魚津市の神島公民館




鳥獣害対策として「冬瓜」の産地化と商品開発 (魚津市松倉地区)



温州みかん栽培地の整備や直売所でのブランドパッケージの開発(氷見市大境他地区)



耕作放棄地を活用した山菜の栽培と販路拡大 (砺波市東別所下村)

砺波・東別所の住民

学生助っ人と山菜植え作業

中山間地域の活性化に貢献する新化産地化支援事業が、砺波市東別所下村に展開している。住民らと学生らによる山菜の栽培と販路拡大を目指す。砺波市東別所下村の山菜栽培は、近年盛んに行われており、住民らと学生らによる山菜の栽培と販路拡大を目指す。砺波市東別所下村の山菜栽培は、近年盛んに行われており、住民らと学生らによる山菜の栽培と販路拡大を目指す。

使われない農地活用 来年にも出荷

砺波市東別所下村の山菜栽培は、近年盛んに行われており、住民らと学生らによる山菜の栽培と販路拡大を目指す。砺波市東別所下村の山菜栽培は、近年盛んに行われており、住民らと学生らによる山菜の栽培と販路拡大を目指す。

(1) 豊かな自然環境保全対策

④中山間地域チャレンジ支援事業

番号	連携する集落と団体名		活動年度	活動概要
	集 落	団 体 等		
1	朝日町宮崎	あさひWARA-WARA、(有)チュリストやまざき	H25～H27	稲藁を活用した藁製品や藁灰づくりなど地区文化の継承と情報発信
2	魚津市松倉	ほほえみ会、イタリア料理「ルチアーノ」	H25～H27	鳥獣害対策としての「松倉冬瓜」の産地化と商品開発
3	朝日町大家庄・山崎	食が彩る里づくりの会、ハイテック大家庄	H25～H27	獣害を受けにくい新規農産物の栽培研究と新商品の開発販売
4	氷見市坪池	キトキトごはん氷見、創作工房ひみ	H25～H27	はさがけ米や干柿を中心とした伝統文化の継承と地域の魅力発信
5	氷見市小窪・七分一	氷見クッキングスマイル、イタリア料理店	H25～H27	地域特産物を利用した新たな料理開発と知名度アップ
6	高岡市五位	五位営農組合、J Aいなば	H25～H27	安納芋(サツマイモ)の特産品化とスイーツ等の加工販売や販路拡大
7	砺波市金屋	金屋ゆず生産組合、農工房長者、アルビス砺波店	H25～H27	金屋ゆずの生産量の回復と加工品の開発及び販路拡大
8	南砺市立野原西	一般社団法人 地域再生道場、トナミ醤油	H25～H27	有機農業による野菜生産と低温スチーム処理した特産品の開発と販路拡大
9	南砺市京塚・南原	社会福祉法人 手をつなぐとなみ野、(株)ナカシマ	H25～H27	保全管理地等を活用した野菜栽培と農産物の販路拡大や就労の場の確保
10	黒部市宇奈月	@homeうなづき、有磯きときと庵	H26～H28	「こぼれスイーツ」と「田舎体験」で人を呼ぶ仕組みづくり
11	富山市細入	やるまいけ らつきょう作り会、(株)ほそいり	H26～H28	地域を潤す新たな品目の導入と新商品の開発
12	氷見市北八代、 十二町、女良	特定非営利活動法人 アートNPOヒミング、氷見市商工会議所	H26～H28	つながるつなげる農と食@氷見3ヶ年プロジェクト
13	氷見市粟原	社会福祉法人 三福、アルカディア雨晴	H26～H28	野菜栽培・農産物等の販路開拓と障害者の就労支援
14	南砺市砂子谷	石田一郎加工所、道の駅福光	H26～H28	里山の恵みを生かした野菜等の栽培と販路開拓
15	魚津市小菅沼	里山元気くらぶ、黒部特産	H27～H29	廃菌床を活用した落花生栽培と新メニュー開発
16	富山市小羽	NPO法人こば、(有)土遊野	H27～H29	里山遊び場こば(アソコバ)プロジェクト
17	上市町種	株式会社上市屋、みやげ処味蔵	H27～H29	「種流」里山ライフスタイルの伝承
18	氷見市速川	速川地区過疎集落自立再生対策事業推進協議会 いきいき直売の会(大阪屋ショップ氷見店他)	H27～H29	サツマイモで地産地消、都市住民との集落維持・地域活性化
19	砺波市梅檀山	夢の平グループ、五谷観光企業組合	H27～H29	旬菜直売所の開設
20	南砺市立野原	立野原観光農園、農業生産組合エキップ	H27～H29	薬用作物栽培による保全管理農地の再生

(1) 豊かな自然環境保全対策

⑤とやま農業・農村サポーター活動支援事業

【中山間地域の集落】

過疎化・高齢化により、後継者等が不足し、集落活動の維持が困難



地域外人材の協力により、集落機能の維持や伝統文化の継承を希望

⇒ **受入地域に登録し、情報提供**
(登録数:31地域)



【県内外のNPO、企業、大学等】

農村ボランティアや地域交流を通じて

地域のことを知りたい・貢献したい

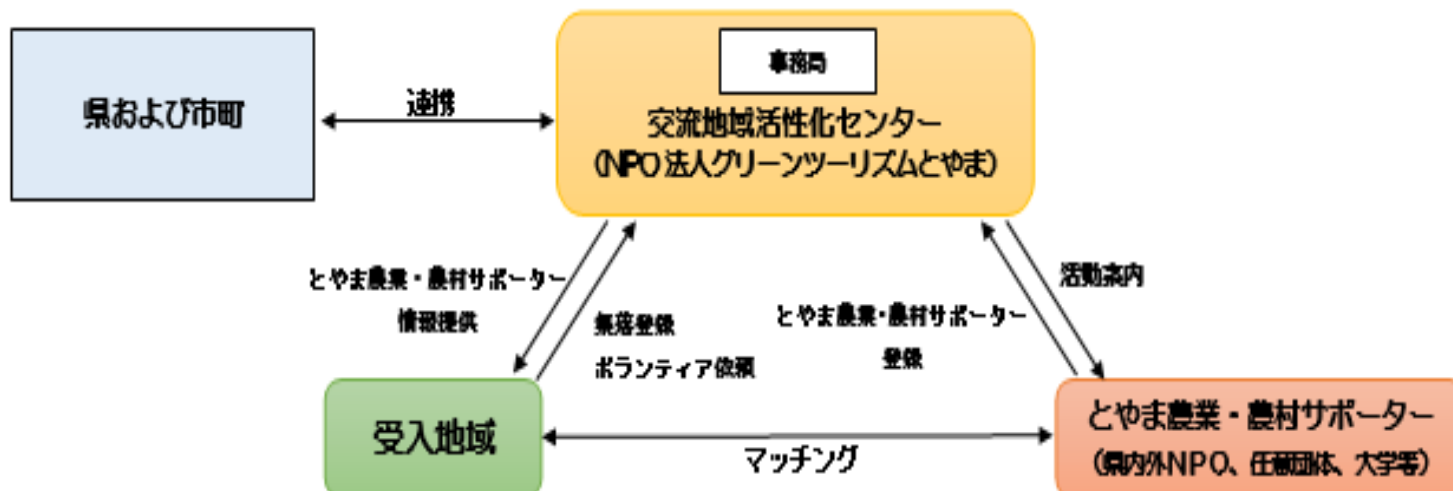
⇒ **農業・農村サポーターに登録**
登録数:38団体

○大学・学生15団体(県外5団体含む)

地域外サポーターとして、継続的な活動へのきっかけづくり

⇒ **中山間地域の活性化に寄与**

とやま農業・農村サポーター活動支援事業 イメージ



(1) 豊かな自然環境保全対策

⑤とやま農業・農村サポーター活動支援事業

【取組状況】27年度は11月末までに県内で19回の活動を実施、延べ約80人が参加

No.	月	受入地域	活動場所	活動概要	サポーター団体等	参加人数
1	4月	西太美地域づくり推進委員会	南砺市才川七	水路の土砂上げ作業	富山短期大学(1名)	1名
2	4月	夢創塾	朝日町蛭谷	小屋づくり	富山大学ボランティアサークル「MEETS」(3名) 他3名	6名
3	4月	黒谷山女中山間集落協定	魚津市黒谷山女	共同菜園の電気柵の設置作業	富山大学酒井ゼミ(1名) 他3名	4名
4	5月	小菅沼ヤギの杜	魚津市小菅沼	きのこの菌打ち ブルーベリーヘチップ (堆肥)敷き	日立国際電気(4名) 富山大学ボランティアサークル「MEETS」(4名)他7名	15名
5	5月	がうん天蚕の会	富山市八尾町檜尾	ネット張りとし付け	チーム西坂(1名)	1名
6	5月	越中福岡の菅笠製作技術保存会	高岡市福岡町鳥倉	菅田の間引き作業	富山大学ボランティアサークル「MEETS」(4名) 富山大学酒井ゼミ(1名)	5名
7	6月	五位宮農組合	高岡市福岡町五位	安納芋の苗植付け	富山大学酒井ゼミ(1名)	1名
8	6月	利賀百姓塾	南砺市利賀村	有機農水田の草取り	チーム増田(1名)他2名	3名
9	6月	土山自治会	南砺市土山	電気柵設置作業	富山大学酒井ゼミ(1名)他1名	2名
10	6月	南原集落協定	南砺市立野原	農道の草刈り	富山大学酒井ゼミ(1名)他2名	3名
11	7月	鎌倉集落	富山市山田鎌倉	マコモタケ田の草取り	富山大学酒井ゼミ(1名)	1名
12	7月	NPO法人利賀飛翔の会	南砺市利賀村	谷内湿原の保全整備	農村振興技術連盟(2名)	2名
13	7月	越中福岡の菅笠製作技術保存会	高岡市福岡町大野	学校スゲ田の刈り取り	富山大学酒井ゼミ(1名) 農村振興技術連盟(1名)	2名
14	8月	黒谷山女中山間集落協定	魚津市黒谷山女	電気柵設置作業	富山短期大学(3名) 富山大学酒井ゼミ(1名)他4名	8名
15	9月	利賀百姓塾	南砺市利賀村	有機農水田の稲刈りとハサ掛け	農村振興技術連盟(3名)	3名
16	10月	赤毛生産組合	氷見市赤毛	「クロスントリーin赤毛'15」でのコース整理員、昼食づくり、配膳	富山大学ボランティアサークル「MEETS」(2名) 富山大学酒井ゼミ(1名)他1名	4名
17	10月	夢創塾	朝日町蛭谷	機械作業不能の田んぼの稲刈り	チーム高橋(1名)	1名
18	10月	NPO法人速川活性化協議会	氷見市速川	さつまいもの収穫・出荷 籾殻燻炭づくり等	10月～11月随時募集 富山大学「MEETS」(3名) 他2名	5名
19	11月	黒谷山女中山間集落協定	魚津市黒谷山女	集落の共同菜園の電気柵撤去作業	NPO法人地域福祉協会(1名) 他9名	9名

魚津市 黒谷山女中山間集落協定



地域の共同活動にサポーターが参加し、共用菜園に電気柵の設置(4月26日)



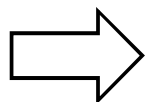
作業後の集落散策にて、地域の方の案内により、農業水利施設やイノシシの被害箇所を見学(11月22日)

(1) 豊かな自然環境保全対策

⑥ 簡易放牧支援事業

野生生物との棲み分けや耕作放棄地の解消等のためのカウベルト
(牛の放牧帯)の設置を支援

放牧前



放牧後



子供たちの見学



14地区：富山市2：婦中町外輪野、文珠寺

氷見市7：北八代、角間、吉懸、懸札、中村、布施、能無

黒部市4：阿古屋野、宇奈月町大原台、宇奈月町浦山、宇奈月町内山

南砺市1：小院瀬見

(1) 豊かな自然環境保全対策

⑦「鳥獣被害防止対策」 ジビエの流通強化に向けた取り組み

○地産地消大商談会にジビエブースを出展し、「とやまジビエ」を県内外のバイヤーにPR



とやま自遊館ホール (H27. 6. 15)



【出展業者】

グランマルシェ・タケダ(株)

【商談企業】

・オークス株式会社

・とやま自遊館

・富山第一ホテル

・サンルートプラザ東京

・なんとポーク(出展業者) 計5社

○安全・安心なジビエを流通させるための連携を目指す勉強会を開催



富山県民会館 (H27. 8. 3)



【演題】

ジビエの活用方法とジビエ肉質等級制度について

【講師】

イノシシ・シカ食肉処理業「いの屋」代表
北浦 順嗣 氏 (和歌山県)

【参加者】

狩猟者、獣肉処理業者、行政関係者等
40名

(1) 豊かな自然環境保全対策

⑦ 「鳥獣被害防止対策」 一般消費者へのPR

PR資材作成



ジビエの高い栄養価や、家庭で調理する際の注意点、おすすめの料理レシピなどを分かりやすく解説。

商品開発 (イノシシカレー)



メデルケ(株式会社上市屋)が開発した、スパイスの効いたカレー。県東部の店舗やKNBショッピングサイトなどで販売中。

試食・販売・展示

KNB大バザール(H27.7.5)



KNB秋の大収穫祭(H27.10.4)



食の王国フェスタ～秋の陣～(H27.11.7,8)



取組みを通して

県民が気軽にジビエに親しめる機会を創出

(2) 都市農山漁村交流対策

①とやま帰農塾

都市農山漁村交流を通じ、田舎暮らし体験ができる「とやま帰農塾」を県内9市町で12講座を実施。参加者は153名(うち県外者121名)。

これまでに1,036名
(うち、県外参加者647名)

定住・半定住者23名

朝日町: 笹川・びるだん塾
大家庄塾

黒部市: 黒部塾

魚津市: 松倉塾

立山町: 立山塾

富山市: やまだ村塾、大長谷塾

氷見市: 灘浦塾

高岡市: 国吉塾

砺波市: 砺波塾

南砺市: 井波塾、五箇山塾



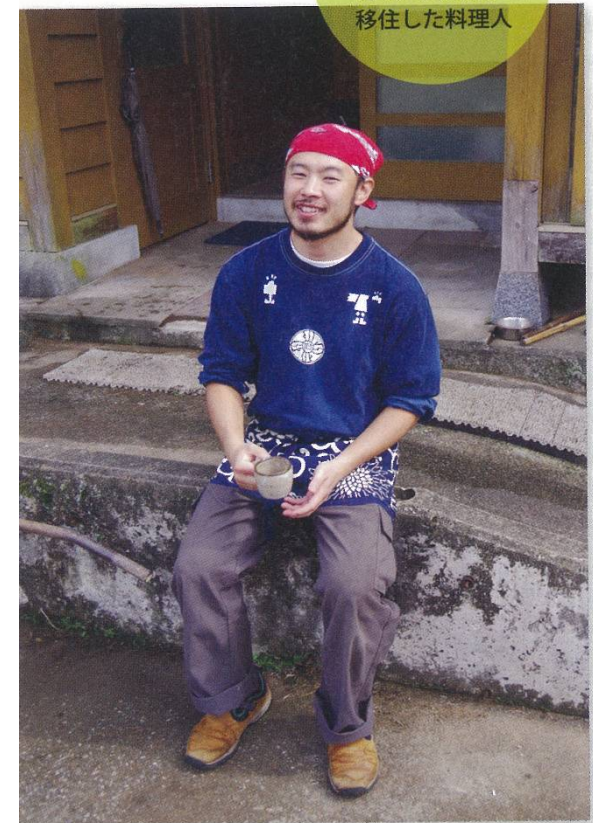
村づくり談義(移住者との交流会)
(南砺市五箇山塾)



稲刈り&ハサ掛け体験
(魚津市松倉塾)

島田剛志

富山へUターン
秘境・大長谷に
移住した料理人



東京や海外など長く外へ出ていましたが、地元の富山へ戻った一昨年、「鶏さばき」や、キノコの取り方など自然に近い体験ができるプログラムに惹かれて、大長谷塾に参加しました。そこで、現在の僕の師匠である塾長の村上さんとの出会いがきっかけとなり、大長谷への移住を決めました。

(2) 都市農山漁村交流対策

② 「とやまの田舎」 交流支援事業

条例に基づき指定された交流地域活性化重点地域(以下「重点地域」)が、
県外からの交流人口の拡大を図る取組を支援

- ・条例: 都市との交流による農山漁村地域の活性化に関する条例(平成15年施行)
- ・重点地域: 都市との交流による活性化を推進する上で重要な地域(市町村の申し出により県が指定)
平成16年~27年に12市町の43地域を指定

- ・支援事業: 地域の魅力ある素材や企画を活かして、県外からの交流人口の拡大を図る取組を支援
- ・支援内容: 首都圏等への広報、パンフの作成、HPの情報発信等 **・補助率: 県1/2、市町村1/2(上限200千円/地区・年)**

平成27年度事業実施地区

地域名	活動組織	事業概要
氷見市藪田	NPO法人 九転十起交流会	浅野総一郎ゆかりの都市や企業関係者等との交流会の 開催
黒部市東布施	布施谷活性化協議会	景観・体験交流による「健康ウォーク」の開催 等
南砺市相倉	「みんなで農作業の日」 In五箇山実行委員会	「みんなで農作業の日」In五箇山にてオーナー制度の実施
上市町 白萩南部・黒川	上市町グリーン・ツーリズム 推進協議会	種の里「棚田オーナー」の拡充 等
朝日町宮崎・笹川	あさひふるさと 体験推進協議会	地域素材を活かした交流イベント「朝日劇場活性化計画」 の開催 等
魚津市松倉	小菅沼・ヤギの杜	三百山散策、つる籠編み等のエコツーリズムの実施
高岡市国吉	里山活性化協議会	古民家を活用した交流活動
南砺市小瀬・菅沼	越中五箇山菅沼集落 保全研究会	茅葺き体験や民謡体験、集落ガイド、農村文化体験など の滞在型プログラム
小矢部市南谷	小矢部市農業特産物 推進協議会	里山暮らしプチ体験の実施、おやべ元気村づくり塾の連携 事業の拡大 等



里山暮らしプチ体験募集チラシ

(3) 県民の意識づくり推進

① 田んぼの生き物調べ

水田や用水に親しむことで、農業や農村について理解を深めてもらうため、子供たちによる生態系調査を実施 参加者156名

4地区：朝日町殿町（7月26日；22名）、 上市町上荒又（6月23日；50名）、
高岡市反保島（7月25日；29名）、 高岡市立野（7月2日；55名）、

ドジョウやカワニナなどたくさんの生き物が
住んでいるんだ



高岡市 反保島児童クラブ
(高岡市反保島地内)

水温はどのくらいかな？



上市町 相ノ木小学校
(上市町上荒又地内)

(3) 県民の意識づくり推進

② 「水土里探訪ウォーク」

ウォーキングを通じて、農業用水利施設の役割や地域の歴史について理解を深めてもらうためのイベント

「水土里探訪ウォーク in 桜ヶ池」開催(24回目)

H27年6月25日(土)

参加者 220 名 南砺市桜ヶ池周辺

晴天の下、桜ヶ池周辺の歴史や農業用施設の説明を聞きながら約5kmをウォーキング



ウォーキングの様子



施設説明の様子



ウォーキング当日の眺め

(3) 県民の意識づくり推進

③「とやま農山村魅力発見等」

農山村地域の景観や田舎暮らし等の魅力を広く知ってもらい、その維持・保全や活性化を図るため、「とやまの農山村写真展」を開催。

応募総数 134点(一般;120点、ジュニア14点)

応募者数 69名(一般; 58名、ジュニア11名)

受賞作品数 15点

一般 ;10点(知事賞3、棚田賞2、特別賞5)

ジュニア; 5点(知事賞2、棚田賞1、特別賞2)



一般部門 最優秀賞
「冬日」(氷見市)



ジュニア部門 最優秀賞
「冬支度」(富山市)



H28年2月12日～14日応募全作品展示
(富山県民会館 ギャラリーB)



H28年2月12日表彰式
(県農林水産部長より知事賞授与)

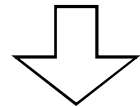
2. 平成28年度の取組

○ 基金事業を引き続き実施し、県内各地で展開されている地域活動に対して、きめ細かく支援

○ 特に、中山間地域においては、

- ・ 高齢化や人口減少の進行に伴う担い手減少
- ・ 農業生産活動や地域コミュニティ機能の低下

であることを踏まえ、以下の地域活性化の取組を強化



- ・ 地域資源を活かした新しい事業の創出や商品開発の推進などによる地域特産品づくりを含めた多様な産業の創出
- ・ 地域住民が主体となって、NPO、企業などと相互に助け合いによる集落機能の強化と集落間ネットワークの構築
- ・ 都市住民の志向の多様化を受け、都市とは異なる豊かさを求める農村回帰の流れを捉えた都市農村交流の展開